

令和7年度 外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーション I	3	1	BLUE MARBLE ナビゲーションノート システム英単語

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・ゆっくりと丁寧に話された内容をしっかりと聞き取れるようになりましょう。
- ・基本的な英単語・熟語・文法・構文をしっかりと覚え、まとまった英文を読んでその概要を理解できるようにしましょう。
- ・アイコンタクトや適宜適切な質問等を用いた英語での短いやり取りができるようになりましょう。
- ・日常での身近な出来事や興味関心のあることを簡単な英語で発表できるようになりましょう。
- ・表現したい内容を簡潔に英語で書くことができるように、適切な語彙・構文等を使えるようになりましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第1学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
学習到達目標	基本的で定型的な表現を用いており、かつ比較的ゆっくりと話された英語を聞き取り、必要な事柄についてその内容や要点を理解することができる。	写真や図表・グラフ等を利用してしつつ、基本的な語彙・文法等を用いた英文を読み、その内容や概要を理解することができる。	相手の目をしてしっかりと見ながら英語での比較的短いやり取りができる。その際、やり取りを活性化させる定型文や表現を適宜活用することができる。	日常生活での身近な内容や興味関心のあることについて、相手が理解しやすいように基本的な表現を用いつつまとめて英語で発表することができる。	伝えたい内容をまず論理的で簡潔な日本語にし、それを英語の基礎的・基本的な語彙や構文にまとめなおして書き表すことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	小学校・中学校で学んだ知識・技能を基に、卒業後の進路実現をめざすために重要で基本的な語彙・文法・構文等の知識・技能を身につけている。	日常的で身近な内容や興味関心のあることについて基本的な英語表現にすることができる。まとまった英文や英語音声から必要な情報を受けとり、その真偽等を適切に判断することができる。	日本語と英語との間にある様々な言語的相違点や類似点に興味を持ちながら、粘り強く学習を継続することができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとめ（領域）ごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法	
1	Lesson 1 “Friendships in the Digital Age” Lesson 2 “Expos: Past, Present, and Future”	聞くこと	a: 基本的な音節やアクセント・イントネーションについて理解できている。 b: ゆっくり話された基礎的な英語を聞いて、質問に対する適切な答えを選ぶことができる。 c: 日本語と英語の発音の違いに注目しながら、集中して繰り返し英語を聞き取ろうとしている。	小テスト	
		読むこと	a: 英文の中で用いられている基本的な語彙や構文の用法を理解できている。 b: 英文の中から必要な情報を適時適切に見つけ出している。 c: 授業以前に、辞書等を活用して与えられた英文を理解しようとしている。	小テスト、ワーク、定期考査（リーディング）	
		話すこと（やり取り）	a: 相手に話しかけたり質問したりする際に用いる基本的な表現を英語でできている。 b: 相手とのやり取りの中で最適な英語表現を適切に選び出し、使用することができる。 c: スムーズなやり取り展開にならなくても、諦めずに何度でも挑戦している。	スピーキングテスト	
		書くこと	a: 英文を作成するときに用いる基礎的な英語の語順を理解できている。 b: 述べようとする内容に応じて動詞の形を適切に変えることができる。 c: 現在知っている語彙や構文を活用してできるだけ述べたい内容に近い英文を作成しようとしている。	小テスト、ワーク、定期考査（ライティング）	
	中間考査				
	Lesson 3 “The Fascinating World of a Professional Storyteller” Lesson 4 “Changing Behavior in Unique Ways”	聞くこと	a: 英語のリズムや弱く発音される語（機能語）の変化について理解できている。 b: ゆっくり話された基礎的な英語を聞いて、質問に対する適切な答えを選ぶことができる。 c: 日本語と英語の発音の違いに注目しながら、集中して英語を聞き取ろうとしている。	小テスト	
		読むこと	a: 時間的順序や列挙・例示や追加などの英文での基本的なパターンを理解できている。 b: 内容（「講談の魅力」・「人の行動を変え、社会を向上させる仕掛けの機能」）を理解し、質問に対して適切に答えている。 c: 授業以前に、辞書等を活用して与えられた英文を理解しようとしている。	小テスト、ワーク、定期考査（リーディング）	
		話すこと（発表）	a: 日常での身近な事柄や興味関心について述べる際に用いる適切な語彙や構文を身につけている。 b: 相手の反応を見てより分かりやすい英語表現に変えたり、相手からの質問に適切に英語で答えることができる。 c: メモなどを見ることなく、できるだけ暗唱したものを発表しようとしている。	スピーキングテスト	
		書くこと	a: 助動詞や態・to不定詞の基本的な用法を理解できている。 b: 述べようとする内容に応じて適切な助動詞を選び、態を選択し、to不定詞を活用することができる。 c: 現在知っている語彙や構文を活用してできるだけ述べたい内容に近い英文を作成しようとしている。	小テスト、ワーク、定期考査（ライティング）	
	期末考査				
	2	Lesson 5 “A Journey to Peace”	聞くこと	a: 特殊な語尾を持つ語のアクセントについて理解できている。 b: 綴りが同じでも意味や品詞が違う場合を適宜判断し、発音の違いを聞き取ることができる。 c: 基本的な語におけるアクセントや発音の違いに注目しながら、集中して繰り返し英語を聞き取ろうとしている。	小テスト
		Lesson 6 “Humans Evolve with Measurements”	読むこと	a: 「言い換え」や「要約」をする際に用いる基本的な表現を理解できている。 b: 複数の事柄の共通点や相違点を適切に判断し、理解できている。 c: 授業以前に、辞書等を活用して与えられた英文を理解しようとしている。	小テスト、ワーク、定期考査（リーディング）
		話すこと	a: レッソンの内容を相手に正確に伝える際に用いる表現を複数身につけている。	スピーキングテスト	

		(やり取り)	b: やり取りの中で生じた疑問点を適宜伝え、対話の展開を広げようとしている。 c: スムーズなやり取り展開にならなくても、諦めずに何度でも挑戦している。	
		書くこと	a: 関係代名詞の基本的な用法を理解できている。 b: 述べようとする内容に応じて、用いる使役動詞を適切に使い分けて表現することができている。 c: レッスンで学んだ語彙や構文を活用してできるだけ述べたい内容に近い英文を作成しようとしている。	小テスト、ワーク、定期考査(ライティング)
中間考査				
		聞くこと	a: 音の連結(リエゾン)や脱落(リダクション)について理解できている。 b: 音の連結や脱落に惑わされることなく伝えられた内容を聞き取り、質問に答えることができている。 c: 音の連結や脱落に注目しながら、集中して英語を聞き取ろうとしている。	小テスト
	Lesson 7 "Bio-logging: Discovering Animals' Secrets"	読むこと	a: 「事実」や「意見」を表す際に用いる英語表現を理解できている。 b: 英文内における「事実」と「意見」を識別できている。 c: 授業以前に、辞書等を活用して与えられた英文を理解しようとしている。	小テスト、ワーク、定期考査(リーディング)
	Lesson 8 "What to Do with Too Many Tourists"	話すこと (発表)	a: これまでのレッスンで学んだ内容や日常での身近な事柄等について述べる際に用いる適切な語彙や構文を身につけている。 b: 相手の反応を見ながらより適切な英語表現に言い換えたり、相手からの質問に適切な英語で答えている。 c: メモなどを見ることなく、適切な音量とスピードでできるだけ暗唱したものを発表しようとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 「原因」と「結果」を表す英語表現を複数使うことができている。 b: 「原因→結果」と「結果→原因」の2通りの文章展開を適宜使い分けられている。 c: レッスンで学んだ語彙や構文を活用し、述べたい内容に近い英文を作成しようとしている。	小テスト、ワーク、定期考査(ライティング)
期末考査				
3		聞くこと	a: 英語のリズムや弱く発音される語(機能語)の変化について理解できている。 b: ゆっくり話された基礎的な英語を聞いて、質問に対する適切な答えを選ぶことができている。 c: 日本語と英語の発音の違いに注目しながら、集中して英語を聞き取ろうとしている。	小テスト
	Lesson 9 "Surviving in the Information Age"	読むこと	a: 「目的」を表す表現や比較・仮定法について基本的な理解ができている。 b: 「比較」を用いた文を読む場合、何と何を比べているのかを適宜判断できている。 c: 授業以前に、辞書等を活用して与えられた英文を理解しようとしている。	小テスト、ワーク、定期考査(リーディング)
	Lesson 10 "The Spirit of Zen: Less Is More"	話すこと (発表)	a: これまでに学んだ語彙・文法や表現を活用できている。 b: 同様の内容であればできるだけ簡潔な英語で表現しようとしている。 c: 適切な間と音量・スピードで、暗唱したものを発表しようとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 「目的」を表す表現や比較・仮定法の基本的な用法を理解できている。 b: 述べようとする内容に応じて適切な比較表現を選んでいる。 c: これまで学んだ語彙や構文を活用し、述べたい内容に近い英文を作成しようとしている。	小テスト、ワーク、定期考査(ライティング)
	学年末考査			

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度